

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
小・中学校共通 <b>美 術</b>
中・高等学校共通 <b>美 術</b>

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、29ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 8 この問題は、**共通問題 1 ~ 5**、**選択問題 小 小・中学校共通**、**高 中・高等学校共通**の各問題から構成されています。次の表に従って、解答してください。また、**選択問題で受験科目以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効**となります。

共通問題（全員が解答する）	
共通問題 1 ~ 5（1ページ~23ページ）	
選択問題（受験校種により、いずれか一つを選択して解答する）	
小・中学校共通	中・高等学校共通
<b>小</b> 小・中学校共通 (24ページ~26ページ)	<b>高</b> 中・高等学校共通 (27ページ~29ページ)

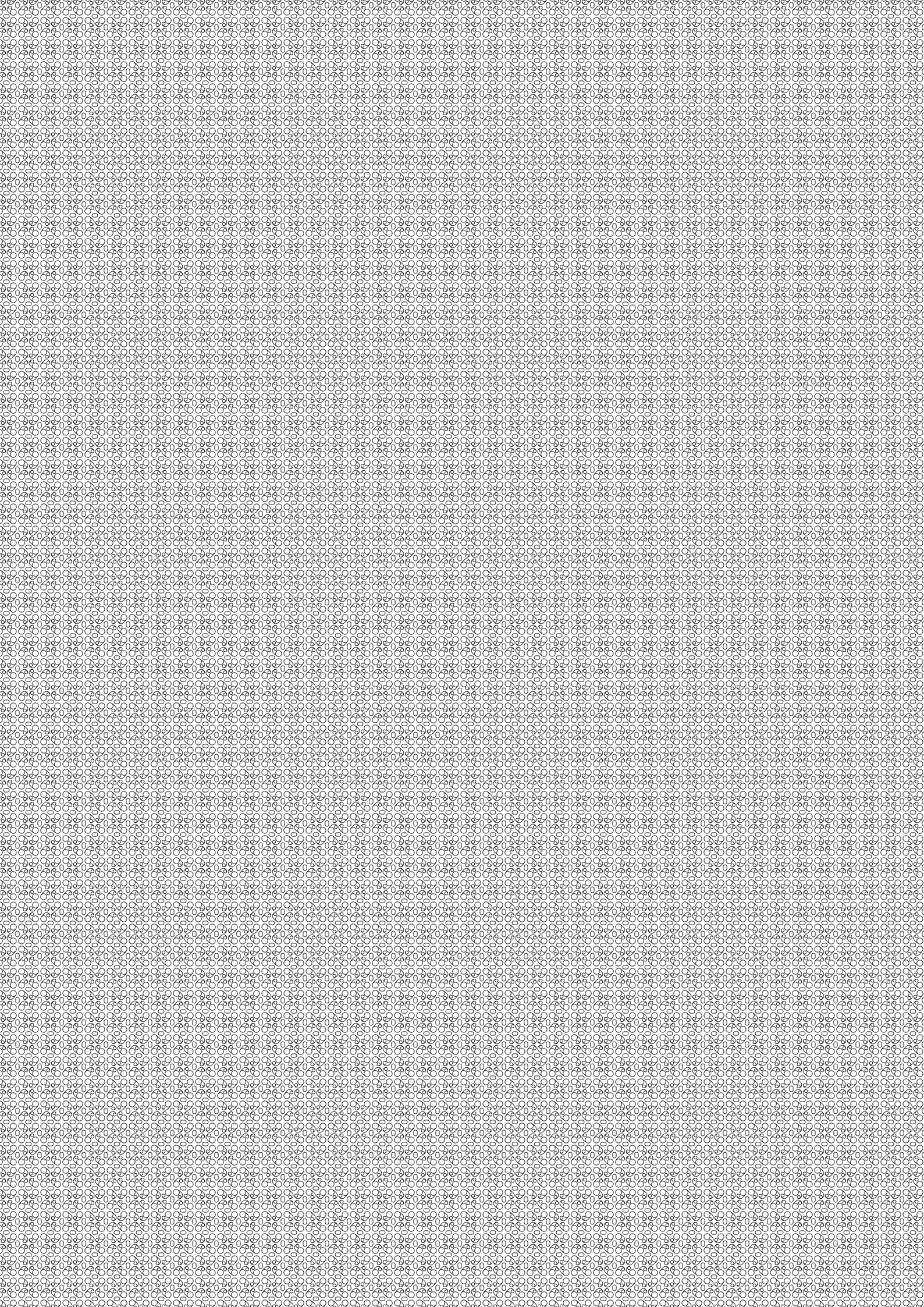
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は **1**。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例)のように解答番号 **1** の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解答欄
<b>1</b>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



問題中に示した図については、特にことわりがなくても、原作となる作品の一部である場合や、必要に応じて部分的に修正を加えてある場合がある。

## 共通問題

1 図画工作及び美術の表現に関する次の各問に答えよ。

【問 1】 次の図は、欧文書体とそのラインシステムを示したものである。図中ア・イと、ラインの名称 A～E との組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は  。

図

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- A アセンダーライン
- B エックスライン
- C キャップライン
- D デセンダーライン
- E ベースライン

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-D |
| 2 | ア-A | イ-E |
| 3 | ア-B | イ-D |
| 4 | ア-B | イ-E |
| 5 | ア-C | イ-D |
| 6 | ア-C | イ-E |

[問 2] リトグラフに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 孔版の代表的な技法で、版の孔の部分から絵具を通過させて刷る。この方法は他の版画と異なり、版の図柄と印刷された図柄が左右逆にならない。
- 2 平版の代表的な技法で、水と油の反発を利用して、凹凸のない板で刷る。特徴は、描いた筆跡をそのまま表現できることである。
- 3 凸版の代表的な技法で、板を彫刻刀で彫り、絵具やインクを置いて凸面の形を刷る。日本では、江戸時代に多版多色刷りの浮世絵版画が流行した。
- 4 凹版の代表的な技法で、版の表面に溝や傷などをつくり、凹部に絵具を詰め、プレス機で圧力をかけて刷る。直に版を傷つける直接法と、腐食させて溝をつくる間接法がある。

[問 3] 絵画の技法に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 不透明の油絵具やアクリル絵具を、厚塗りしたり盛り上げたりする技法をスクンプリングという。
- 2 下塗りの色がとぎれとぎれに見えるように、下塗りの色の上から不透明な色を薄くかける技法をグラッシという。
- 3 明部から暗部への調子の階調を利用して、物体の三次元性を表す技法をキアロスケーロという。
- 4 透明な絵具を、すでに乾いた下層の絵具層の上に薄く塗る技法をインパストという。

[問 4] 立体表現の技法に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 粘土など可塑性のある素材を、心棒につけて形をつくり出す技法を彫造という。
- 2 木や石などの塊を、彫ったり削ったりして、形をつくり出す技法を鑄造という。
- 3 加熱した金属を、打ったりたたいたりして、形をつくり出す技法を鍛造という。
- 4 溶かした金属を、鑄型に流し込み、形をつくり出す技法を塑造という。

[問 5] 次の作品ア・イと、その作品の構成に用いられた図法A～Cとの組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 5。

ア

イ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- A 斜投影図法
- B 正投影図法
- C 等角投影図法

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B |
| 2 | ア-A | イ-C |
| 3 | ア-B | イ-A |
| 4 | ア-B | イ-C |
| 5 | ア-C | イ-A |
| 6 | ア-C | イ-B |

[問 6] レディ・メイドの手法による作品として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は  。

1

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

[問 7] 次の作品の表現に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。

解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 描く対象を、輪郭線を用いずに墨や彩色の濃淡で表現する「没骨法」が用いられている。
- 2 最初に描いた墨が完全に乾いてから、墨を重ねて描くことによって、モチーフの細部や質感を表現する「積墨法」が用いられている。
- 3 淡墨や中墨で描いた上に濃墨で勢いよく加筆して、淡墨の諧調を引き締める「破墨法」が用いられている。
- 4 淡墨に濃墨を、水に淡墨をとるように、濃さの異なるものをたらしこんで、濃淡のむらをつくる「たらしこみ」が用いられている。

2 図画工作及び美術の鑑賞に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 作者は、米国内の旅を重ね、従来あまり描かれなかった荒廃した都市の光景や田舎の駅舎などを実直なリアリズムで描いた。作品の多くに描かれた早朝や黄昏の陽光、部屋の灯は、彼の光に対する強い感受性を示している。
- 2 作者は、芸術一家に生まれ、若いうちから印象主義的な水彩画で有名になった。彼の成熟した画風の特徴は、写実主義的な解釈と、明白な美しさ、そしてほとんど写真のような精密さである。
- 3 作者は、身近な風景や人物を終生の主題とした。純真無垢な想像力によって、単純で克明な形態と固有色を生かした色彩に造形的な秩序を与え、写実と幻想の交錯する独創的なスタイルを樹立した。
- 4 作者は、ナビ派の結成に参加し、平坦な色面を主体に都会生活の断面を切り取った作品を描いた。その後、主題は親密な雰囲気をもたよわせる室内に集中していき、色彩と形態の処理は、感覚的で自在なものになった。



[問 2] 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 物語絵巻では最古の作品である。墨で素描した上から彩色を施し、その後にもう一度輪郭が描かれている。貴族の顔に見られる引目鉤鼻、物語の舞台となる吹抜屋台など、受け手が想像を広げられるように表現されている。
- 2 社寺の由来や霊験などを描いた絵巻物である。場面展開に応じて視点が変化するのが特徴で、左から右へと話が廻る場面がある。飛倉の巻では、校倉自体をほとんど描かず、それを見上げる人々の眼差しで表現されている。
- 3 全巻いずれも詞書がなく、墨絵の白描絵巻である。甲巻は、猿と兎が谷川で水遊びをする場面から始まって、田楽、相撲、法会など当時の人々の生活ぶりを猿、兎、狐、蛙などの擬人化によって表現されている。
- 4 物語を主題とした説話絵巻である。一定の視角を設定し、視線をほぼ平行に移動していく空間把握が特徴で、子供の喧嘩という、たわいないことから応天門炎上の真相が露見した童喧嘩では、異時同図の手法やシーンを連続させる構成によって表現されている。

- [問 3] 次の記述は、下の彫刻作品に関するものである。記述中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1 ~ 8 のうちのどれか。解答番号は **10**。

この作品は、頭部を含め、比較的完全な形で残る **ア** 彫刻のひとつである。その端正な顔立ちはクラシック期の特徴を見せるが、時計回りの動きをもつ強い体のひねりは **イ** 期の特徴をよく示している。当時の古典主義的な傾向を示す作品で、失われた両腕がこの像をより魅力的なものとしている。 **ウ** に所蔵されている。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- |   |               |                |                  |
|---|---------------|----------------|------------------|
| 1 | <b>ア</b> ギリシア | <b>イ</b> アルカイク | <b>ウ</b> 大英博物館   |
| 2 | <b>ア</b> ギリシア | <b>イ</b> アルカイク | <b>ウ</b> ルーヴル美術館 |
| 3 | <b>ア</b> ギリシア | <b>イ</b> ヘレニズム | <b>ウ</b> 大英博物館   |
| 4 | <b>ア</b> ギリシア | <b>イ</b> ヘレニズム | <b>ウ</b> ルーヴル美術館 |
| 5 | <b>ア</b> ローマ  | <b>イ</b> アルカイク | <b>ウ</b> 大英博物館   |
| 6 | <b>ア</b> ローマ  | <b>イ</b> アルカイク | <b>ウ</b> ルーヴル美術館 |
| 7 | <b>ア</b> ローマ  | <b>イ</b> ヘレニズム | <b>ウ</b> 大英博物館   |
| 8 | <b>ア</b> ローマ  | <b>イ</b> ヘレニズム | <b>ウ</b> ルーヴル美術館 |

[問 4] 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 利休の精神を具体化し、楽焼を確立させた作者の作品である。この香炉は、焼成中に軸葉が変化し、羽の斑文周辺が明るく発色する窯変という手法がとられた。
- 2 京焼色絵の完成者で京焼の基本を確立させた作者の作品である。この香炉は、造形と色絵付によって、写実性と装飾性を一体化させる手法がとられた。
- 3 華やかな絵付が特徴の古伊万里を確立させた作者の作品である。この香炉は、ヨーロッパでも評価された染錦手や金襷手という手法がとられた。
- 4 日本で初めて色絵磁器の焼成に成功し、有田焼を確立させた作者の作品である。この香炉は、濁手という乳白色の素地に金彩と色絵の手法がとられた。

[問 5] 次の記述は、ある写真家に関するものである。この写真家の作品として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

写真に芸術としての品位と尊厳を与えた報道写真家といわれている。シュルレアリスムなど同時代の現代美術に精通し、自分の関心に従って被写体を求め、日常の中の緊張した一瞬を視覚化した。彼は、「写真は動作中の諸要素がみごとに釣り合う瞬間をとらえ、その均衡を不動のものにしなければならない」と述べている。

1

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

[問 6] 次の建築物は、我が国のある建築家によるものである。この建築家の作品として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。



1

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3 図画工作及び美術の表現と鑑賞に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家の作品として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は **14** 。

1865年に「オランピア」をサロンに出品して世の非難を浴びるが、色面の明るさを強調した革新的な表現はピサロ、シスレーら若い画家たちをひきつけ、カフェ・ゲルボワの会合に発展、そこから印象派運動が起こった。

あくまでも目に見える現実を描きながら日本の浮世絵に触発された平面的な画面構成を多用し、ときには省略的な描写法を生かし、明るく新鮮な色彩で画面を統一して視覚の自律性と純粋性を追求し、近代絵画の最も重要な推進者の一人となった。

1

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

[問 2] 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 この作品はアンフォルメルに分類されるもので、1940年代から1950年代のヨーロッパ絵画の動向の中で作られた。幾何学的な抽象絵画に対し、形式よりも芸術家の表現衝動が重視される傾向のある抽象絵画である。
- 2 この作品はミニマル・アートに分類されるもので、描く対象の物語的、表現的な内容を最小限にまで減らし、大規模かつ単純化された形態のことであり、幾何学的になることが多いのが特徴である。
- 3 この作品はオブティカル・アートに分類されるもので、幾何学や波形の規則的配列や幻覚的な色彩の同時対比などにより、うねりや動きなどの強い錯視効果をもたらすのが特徴である。
- 4 この作品はキネティック・アートに分類されるもので、物理的な動きを取り入れた視覚的な表現が特徴である。1960年代では、科学技術を応用した動きや光の現象そのものに重点が置かれた。

[問 3] 次の作品ア～ウに用いられている技法に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

ア

イ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

ウ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 アは壁に塗った石灰モルタルが乾かないうちに顔料を水だけで溶いて仕上げる技法、イは顔料と卵の展色剤に油成分を加えた技法、ウは顔料にみょうばん水を展色剤とした技法で描かれている。
- 2 アは顔料に乾性油を展色剤とした技法、イは顔料と卵の展色剤に油成分を加えた技法、ウは顔料ににかわ水を展色剤とした技法で描かれている。
- 3 アは顔料と卵の展色剤に油成分を加えた技法、イは壁に塗った石灰モルタルが乾かないうちに顔料を水だけで溶いて仕上げる技法、ウは顔料ににかわ水を展色剤とした技法で描かれている。
- 4 アは顔料と卵の展色剤に油成分を加えた技法、イは顔料に乾性油を展色剤とした技法、ウは顔料にみょうばん水を展色剤とした技法で描かれている。



[問 4] 次の記述は、ある作品に関するものである。この作品として最も適切なものは、下の  
1～4のうちではどれか。解答番号は  。

琉球特有の型紙染め。布を長板に張り型紙をおいてのりを置き、色を挿す。型紙は1枚で、複雑な色は挿すときに表現する。2本の筆を用い1本は色を置き、他の1本は色を摺り込む。色挿しが終わると再び上塗りをする。次に隈取りと呼ぶぼかしを行い色の調子を複雑にする。

1

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

[問 5] 次の建築物ア・イと、建築物に関する記述A～Cとの組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア

イ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- A この建築物は、半円アーチを有し、分厚く堅固な壁を用いたロマネスク様式のものである。全体が不燃性の石でつくられた石造天井になっており、内部の壁や天井にはフレスコ画がつけられた。
- B この建築物は、尖頭アーチと、強い垂直性が特徴として挙げられるゴシック様式のものである。細い柱と柱の間に大きな窓をつくるのが可能で、色彩豊かなステンドグラスがつけられた。
- C この建築物は、バシリカ式と集中式の2種類の形式を融合し、ドームを組み合わせたビザンチン様式のものである。ドームの内部には、色大理石やガラスを用いたモザイク壁画がつけられた。

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B |
| 2 | ア-A | イ-C |
| 3 | ア-B | イ-A |
| 4 | ア-B | イ-C |
| 5 | ア-C | イ-A |
| 6 | ア-C | イ-B |

## 4

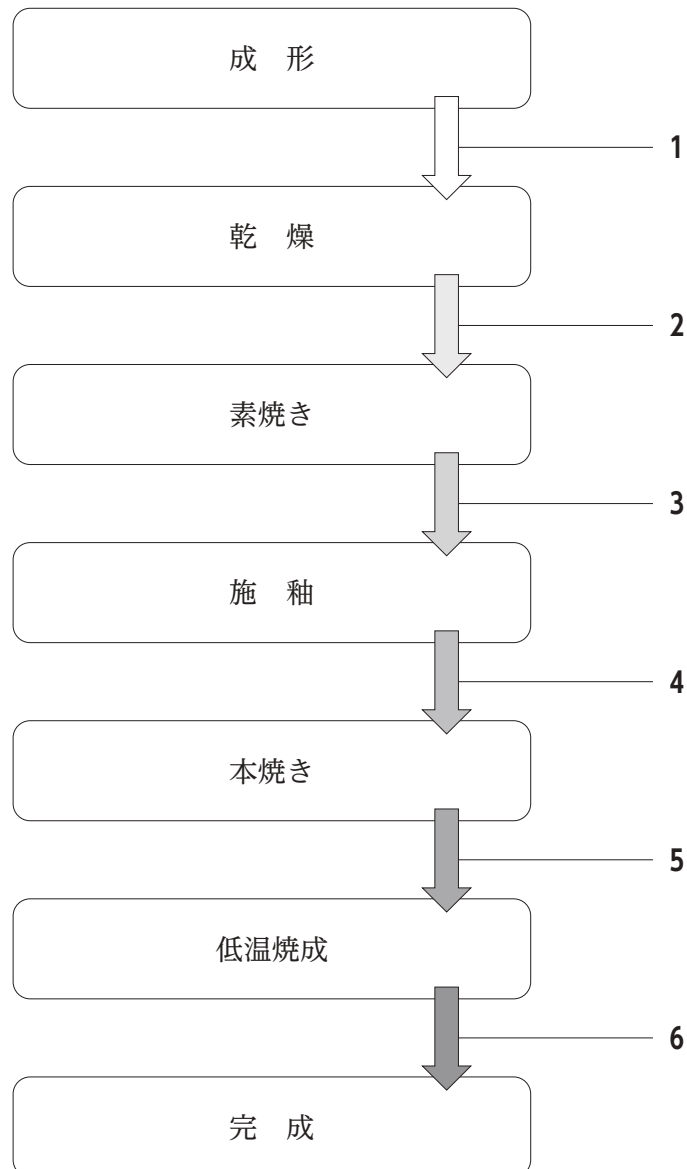
図画工作及び美術の指導に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア・イは、陶磁器の制作工程に関するものである。また、下の図は、陶磁器の制作工程の一部を示したものである。この図を用いて、陶磁器の制作指導を行う際、記述ア・イを行う段階として、最も適切なものは、図中の1～6のうちではどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが  、イが  。

ア 酸化コバルトによって藍色に発色する「呉須」や、酸化鉄を主成分として茶色に発色する「弁柄」や「鬼板」などで絵付する下絵付。

イ 五彩や色絵と呼ばれ、白玉粉と金属酸化物でつくられる「玉ぐすり」という和絵具など、多様な色に発色する専用の絵具で絵付する上絵付。

図



〔問 2〕 次の記述は、木製パネルに紙を水張りする際の指導に関するものである。記述中の空欄  
**ア** ~ **エ** に当てはまるものの組合せとして最も適切なものは、下の 1 ~ 4 のう  
 ちではどれか。解答番号は **21** 。

紙の裏から、水を十分に含ませた **ア** で紙を均一に湿らす。このときまず紙の  
**イ**、次いで **ウ** に、最後に全体をとという順序で行う。紙が十分に水を吸って伸  
 びきったら表を向け、パネルの上に正しく載せる。紙が板に密着し気泡が残らないよう、  
**エ** で中央から四方へ伸ばす。水張りテープに水をつけ、紙の端をパネルにとめ、水  
 平に置いて乾燥させたら完成である。

	<b>ア</b>	<b>イ</b>	<b>ウ</b>	<b>エ</b>
<b>1</b>	タオル	十字	対角線	平刷毛
<b>2</b>	タオル	対角線	十字	平刷毛
<b>3</b>	平刷毛	十字	対角線	タオル
<b>4</b>	平刷毛	対角線	十字	タオル

- [問 3] 次の作品とその作者に関して、授業で指導する際の説明として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 画面全体が薄暗いことから夜の光景を描いたものとわかるこの作品は、一人一人が均等かつ克明に描かれ、強い明暗対比が劇的雰囲気さをさらに高めています。作者は17世紀を代表するフランスの画家で、多くの自画像を手がけました。また、リトグラフにおいても優れた作品を残しています。
- 2 画面左側から差し込む光から昼間の光景を描いたものとわかるこの作品は、一人一人が均等かつ克明に描かれ、強い明暗対比が劇的雰囲気さをさらに高めています。作者は17世紀を代表するフランスの画家で、多くの自画像を手がけました。また、エッチングにおいても優れた作品を残しています。
- 3 画面左側から差し込む光から昼間の光景を描いたものとわかるこの作品は、画中空間から人物が歩み出るかのような演出がなされています。作者は17世紀を代表するオランダの画家で、多くの自画像を手がけました。また、エッチングにおいても優れた作品を残しています。
- 4 画面全体が薄暗いことから夜の光景を描いたものとわかるこの作品は、画中空間から人物が歩み出るかのような演出がなされています。作者は17世紀を代表するオランダの画家で、多くの自画像を手がけました。また、リトグラフにおいても優れた作品を残しています。

**5** 美術史及び美術教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 20世紀の美術史に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **23**。

- 1 デ・ステイルは、フランスに興った芸術運動で、1917年に創刊した雑誌名がのちにグループの名称にもなった。水平線・垂直線・三原色に基づく新造形主義を唱えた。代表的な作家としてモンドリアンがあげられる。
- 2 未来派は、イタリアに興った芸術運動で、1909年の未来派宣言に端を発した。従来の芸術文化のあらゆる旧弊を破って、新しい未来社会の機械文明のダイナミズムとスピード感を礼賛した。代表的な作家としてボッチョーニがあげられる。
- 3 キュビズムは、オランダに興った芸術運動で、理論的な運動というよりは交友関係のうえに自然発生的に生まれたグループであった。原色的色彩、奔放な筆触の太い描線の特徴とした。代表的な作家としてブラマンクがあげられる。
- 4 フォービズムは、フランスに興った芸術運動で、造形の各分野に影響を及ぼした。対象を基本的な構成要素に分解し、それを再構成することによって形態の新しい結合、理知的な空間形成を目指した。代表的な作家としてブラックがあげられる。

[問 2] 次の作品ア～エを、年代の古いものから順に並べたものとして適切なものは、下の  
1～5のうちのどれか。解答番号は  。

ア

イ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

ウ

エ

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

1 ウ → エ → ア → イ

2 ウ → エ → イ → ア

3 エ → イ → ウ → ア

4 エ → ウ → ア → イ

5 エ → ウ → イ → ア

[問 3] 発達段階における特徴的な表現に関する次の記述ア・イと、その名称A～Dとの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。解答番号は 

25
----

。

ア 図式期に現れ、立方体の展開図を上方からのぞくような構図で描く表現である。

イ 図式期に現れ、閉ざされた見えない空間をそのまわりの状況とともに透かして描く表現である。

A レントゲン描法

B スクリブル

C 展開描法

D 頭足人

1 アーA      イーB

2 アーA      イーC

3 アーB      イーC

4 アーB      イーD

5 アーC      イーA

6 アーC      イーB

7 アーD      イーA

8 アーD      イーB



- [問 4] 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、その作者が関わった美術教育に関する記述として適切なものは、下のB群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が 、B群が 。

複製許可が得られていませんので、掲載いたしません。

【A群】

- 1 岡倉天心
- 2 岸田劉生
- 3 中西良夫
- 4 山本鼎

【B群】

- 1 「図画教育論」を著し、図画教育の目的を、児童の感情の美化に求め、美術や絵によって真の徳育を施すという図画教育徳育論を打ち出した。
- 2 「自由画教育」を著し、図画教育は美術教育であるという観点から、創造主義、個性主義、児童中心主義的な図画教育の在り方を自由画教育において提示した。
- 3 「想画による子供の教育」を著し、子供の描画のほとんどは想画に含まれているゆえ、想画こそ児童の図画教育の中核をなすものだとした。
- 4 「東洋の理想」を著し、儒教、道教、仏教などの歴史をたどり、それらを生んだ東洋の精神をよく保持してきたのが日本の美術だとした。

## 選 択 問 題

24ページから29ページまでの選択問題 **小** 小・中学校共通 (24ページ～26ページ)、  
**高** 中・高等学校共通 (27ページ～29ページ) のうちから、表紙の指示に従って、一つを選択し解答せよ。

### **小** 小・中学校共通

[問 1] 次の記述は、色料の三原色に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **エ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **28** 。

色料の三原色は **ア** の3色のことで、混ぜると **イ** が **ウ** なり **エ** に近づく。このような混色を「減法混色」という。

	<b>ア</b>	<b>イ</b>	<b>ウ</b>	<b>エ</b>
<b>1</b>	シアン、マゼンタ、イエロー	彩度	高く	白
<b>2</b>	シアン、マゼンタ、イエロー	明度	低く	黒
<b>3</b>	レッド、グリーン、ブルー	彩度	低く	白
<b>4</b>	レッド、グリーン、ブルー	明度	高く	黒

- [問 2] 次の記述は、ある人物に関するものである。この人物として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、その人物の作品として適切なものは、下のB群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が 、B群が 。

江戸時代前期の芸術家で書、陶芸、蒔絵などに秀で、また、古典、茶道に通じた幅広い教養と卓抜した才能をもって、新しい芸術の指導者となった。1615年徳川家康から洛北鷹峰を賜り、一族や工芸家等を引き連れて移り住んだ。

【A群】

- 1 尾形光琳
- 2 酒井抱一
- 3 俵屋宗達
- 4 本阿弥光悦

【B群】

1

2

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

3

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

[問 3] 小学校学習指導要領図画工作「各学年の目標及び内容」の〔第5学年及び第6学年〕の「目標」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- 2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- 3 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 4 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

[問 4] 中学校学習指導要領美術の「各学年の目標及び内容」の〔第2学年及び第3学年〕の「内容」の「A表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- 2 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。
- 4 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

**高** 中・高等学校共通

- [問 1] 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、その作者に関する記述として適切なものは、下のB群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が 、B群が 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

**【A群】**

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 ヒエロニムス・ボス      | 2 ヤン・ファン・エイク  |
| 3 ペーテル・パウル・ルーベンス | 4 ビーテル・ブリュエゲル |

**【B群】**

- 1614年頃からセビーリャの画家ベドロ・ディアス・デ・ピラヌエーバの工房で学んだ。若い頃から明暗の対比を強調したカラヴァッジョ様式を習得し、セビーリャとその周辺の修道院や教会のために静謐で神秘的な宗教画を多く描いた。
- 1623年、マドリードでフェリペ4世の肖像を描き、国王付き画家に任命された。大まかな筆触により視覚的印象を的確に捉えるという描法で、宮廷の人々の肖像画や現実的装いの神話画を描いた。
- 1516年に没するまで、オランダで恵まれた生活を送りながら制作を続けた。その並外れた想像力で絵画化された幻想的ともいえる独特の世界観は、時代を超え、20世紀のシュルレアリストたちに大きな影響を与えた。
- 1425年、当時北方で隆盛を極めていたブルゴーニュ公国のフィリップ善良公の宮廷画家となった。16世紀に画家たちの評伝をまとめたヴァザーリの著作の中で「油彩技法の発見者」として紹介された。

[問 2] 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

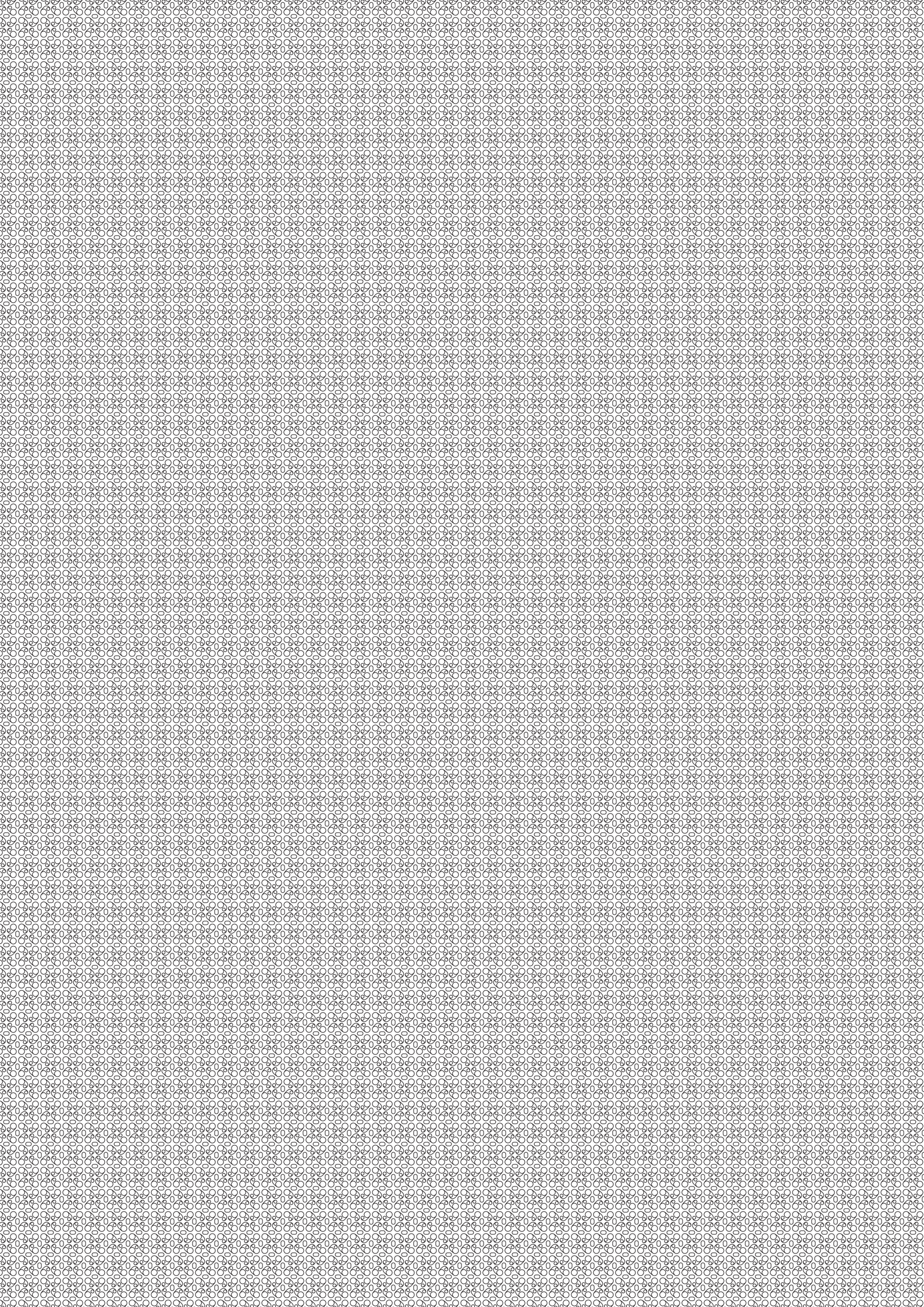
- 1 初期は美人画と役者絵を制作していたが、天保2年頃、斬新な色調の「東都名所」のシリーズを発表して風景画家として本格的にスタートした。「東海道五十三次」のシリーズなど、前人にみない抒情性に富んだ作風によって人気を得た。
- 2 古典和歌を図上に記し、その抒情を同時代の生活風俗に見立てる手法に特に秀でた。代表作に「座敷八景」、「雪中相合傘」などがあり、濃密な詩的情趣に包まれた夢幻的世界を、実在感豊かに描いた。
- 3 司馬江漢や亜欧堂田善らの銅版画に刺激され、透視図法や陰影法を積極的に導入した。代表作『富嶽三十六景』では、洋風表現と伝統的な中国絵画の筆法とが融合した、作者独自の世界をつくりあげた。
- 4 文政末年に刊行した『通俗水滸伝豪傑百八人』の錦絵シリーズが好評を博し、有名になった。清新な洋風陰影法を駆使した風景画は、作者の力量と高い芸術性を示す優品が多く、風刺画、戯画、動植物画なども手がけた。

[問 3] 中学校学習指導要領美術の「各学年の目標及び内容」の〔第2学年及び第3学年〕の「内容」の「A表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- 2 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。
- 4 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

[問 4] 高等学校学習指導要領芸術の「美術Ⅲ」の「内容」の「B鑑賞」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。
- 2 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。
- 3 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。
- 4 造形的なよさや美しさ、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めること。







### 3 (4採用) 【小・中学校共通 美術】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考	
大問番号	小問番号							
1	問1	1	4			3		
	問2	2	2			3		
	問3	3	3			3		
	問4	4	3			3		
	問5	5	2			3		
	問6	6	2			3		
	問7	7	4			3		
2	問1	8	1			3		
	問2	9	4			3		
	問3	10	4			3		
	問4	11	2			3		
	問5	12	4			3		
	問6	13	4			3		
3	問1	14	4			3		
	問2	15	2			3		
	問3	16	3			3		
	問4	17	2			3		
	問5	18	1			3		
4	問1	ア	19	3		3		
		イ	20	5		3		
	問2	21	4			3		
	問3	22	3			3		
5	問1	23	2			3		
	問2	24	4			4		
	問3	25	5			3		
	問4	A	26	4			4	
		B	27	2			3	
小	問1	28	2			3		
	問2	A	29	4		3		
		B	30	1		3		
	問3	31	1		4			
	問4	32	3		4			

### 3 (4採用) 【中・高等学校共通 美術】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考	
大問番号	小問番号							
1	問1	1	4			3		
	問2	2	2			3		
	問3	3	3			3		
	問4	4	3			3		
	問5	5	2			3		
	問6	6	2			3		
	問7	7	4			3		
2	問1	8	1			3		
	問2	9	4			3		
	問3	10	4			3		
	問4	11	2			3		
	問5	12	4			3		
	問6	13	4			3		
3	問1	14	4			3		
	問2	15	2			3		
	問3	16	3			3		
	問4	17	2			3		
	問5	18	1			3		
4	問1	ア	19	3		3		
		イ	20	5		3		
	問2	21	4			3		
	問3	22	3			3		
5	問1	23	2			3		
	問2	24	4			4		
	問3	25	5			3		
	問4	A	26	4			4	
		B	27	2			3	
高	問1	A	28	2		3		
		B	29	4		3		
	問2	30	1			3		
	問3	31	3			4		
	問4	32	4			4		